



日新小だより

<http://www.fuchu22s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和8年3月24日(火)

最終号

府中市立日新小学校
校長 山田 隼土

1年間ありがとうございました

校長 山田隼土

早いもので1年間の教育活動が終わりを迎え、6年生は中学校へと巣立っていきます。

保護者・地域の皆様には、1年間、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

さて、皆さんは京都の「桜守」と呼ばれた造園家の佐野藤右衛門さんをご存じでしょうか。昨年10月に97歳で亡くなりましたが、佐野さんは全国を歩き回って桜を調査し、300種類以上あると言われている各地の桜の保存に奔走された方です。その佐野さんが取材に答えている記事が心に残りましたので紹介します。



『桜にしても、松にしても、樅にしても、みな性格が違います。桜の中の一本一本も、みな違います。じゃあ違うところで、どういうふうに扱うか。本に書いてある通りにやってみたら、みな枯らしてしまいますわ。土地によって気候風土が違いますから。土地に合ったことをやらんといかんのです。同じ環境は一つもないし、同じ木も一つもない。みな違うんですな。せやから、わたしの仕事はすべて手探りです。毎日が応用問題ですわ。天気も毎日、違います。天気によって、できることも違うから、朝起きて、お天気を見てみたら「今日、何をするか」を決めるんですわ。植物は一本一本、みな違うからおもしろいです。人間でも一人ひとり、みなクセが違うやろ。それと同じことです。せやから苦勞するけど、植物の守りがうまいことできて、ちゃんと成長したら、そらもう楽しいですわ。苦勞はしても、苦の裏には必ず楽があるもんです。毎日が苦勞で、毎日、楽しいんや。』(「東京書籍 edu Town あしたね」より抜粋)

私はとても含蓄のある言葉だと思いました。子供にも発達の手筋やその順序には共通してみられる特徴があり、発達段階にふさわしい生活や活動を十分に経験させることが大切です。その一方、子供には個性があり、それぞれの成長には個人差があります。教育書を読んだり、インターネットで検索して調べたりしたことを実践しても上手くいかなかったという経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。一人一人の個性をよく理解し、その子に合った声掛けや支援をしていけばよいということを頭では理解していても、なかなか思い通りにはいかない。そんな苦勞の多い子育てかもしれませんが、その分、子供の成長を感じられたときの喜びは大きいものがあります。

年度末、学習で取り組んだワークシートや作品などを持ち帰ることが多く、1年間の出来事を振り返り、成長を実感することができる絶好の機会です。学習の成果物を持ち帰った際は、お子さんのがんばりや良いところを見付けほめてあげてください。これからも、学校と家庭が共に手を携えながら、一人一人のよさを伸ばしていきたいと思えます。

最後になりましたが、6年生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。在校生の保護者の皆様、4月からもよろしくお願いします。

【 6年生を送る会 】

代表委員会担当 丸山 麻美

3月3日（火）5校時、全校が体育館に集まって6年生を送る会を実施しました。

各学年からの出し物には、6年生への感謝の気持ちや中学校生活へ向けての応援のメッセージが込められていました。ダンス・歌あり、クイズあり、6年生との対決あり…それぞれの学年の良さが詰まった発表に体育館は笑顔と感動でいっぱいになりました。

6年生からの贈り物は、合奏『Remember me』でした。さすが6年生！下級生からは思わず「すごい」の声ももれていました。



1～5年生が装飾文字を作りました



【 卒業式について 】

担当 佐藤 純

3月25日（水）に、令和7年度第48回卒業式が行われます。卒業式当日には、5年生が出席します。卒業式は、保護者様、在校生、職員で卒業生の門出を祝う大事な行事です。

それと同時に、5年生には「次は自分たちが日新小のリーダーとして学校を守っていく。」という自覚を促す場であり、卒業生にとっては、「6年間の感謝を胸に、新たな出発への決意をする。」という場でもあります。それぞれの子供たちは、自分の思いを大切にし、気持ちをそろえて素晴らしい卒業式にしようと頑張っているところです。



【 入学式について 】

担当 海老原 雄一郎

4月6日(月)に、令和8年度第49回入学式が行われます。入学式には新2年生が参加します。現在、入学式に向けて合奏の練習をしています。合奏は鍵盤ハーモニカや木琴、すず、トライアングル、小太鼓、大太鼓で「こいぬのマーチ」を演奏します。鍵盤ハーモニカでは指使いに気を付けて演奏し、ほかのパートの音を聴きながら練習を重ねました。リズムや拍をみんなと合わせて演奏することが上手になってきています。2年生として、初めての大仕事に緊張しながらも頑張る姿に1年間の成長を感じています。

【 春休みの生活 】

担当 海老原 雄一郎

1年が終わり、春休みを迎えることになります。夏季休業や冬季休業と違い、提出する課題はありませんが、今の学年までの学習内容について自分に合った復習やその他家庭学習などに取り組みましょう。

健康

- ・早寝早起き朝ご飯
- ・規則正しい生活を送る
- ・うがい、手洗いなど、感染症予防に注意する

学習

- ・自分なりの課題や目標を決めて実行する
- ・教科書を読み直す
- ・分からなかった問題にもう一度取り組む

安全

- ・自転車はヘルメットをかぶり、交通ルールを守る。
- ・安全な自転車の乗り方をする。
- ・行き先や一緒に行く友達、帰宅時間を家の人に知らせる。
- ・不審者等の情報は、まず110番通報をする。その後、学校にも知らせる。
- ・困ったときには、身近な大人に「SOSを出す」ようにする。

短い休みですが、健康、学習、安全などについて、新学期に向けての準備期間をどのように過ごすかを家庭でも話し合ってください。

新学期を新たな心持ちで気持ちよく迎えられるように、よい春休みにお過ごしください。